

医療維新

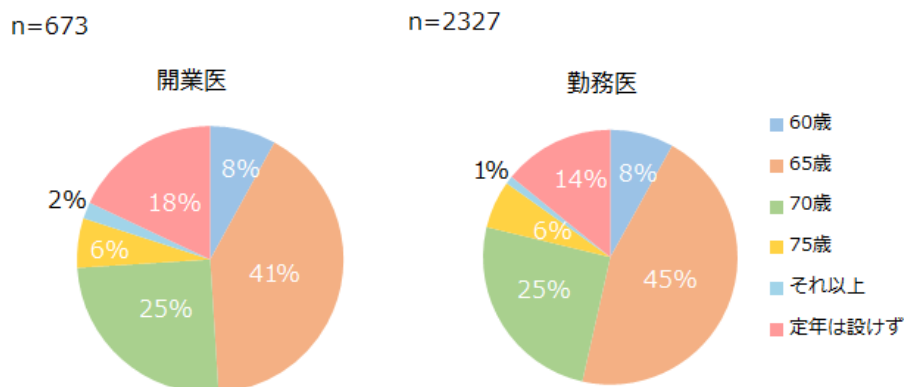
定年退職後の再就職「仕組みあれば登録」が4割

「全く何も考えていない」は15～18% - 意識調査「定年退職後どうする？」◆Vol.1

レポート 2018年12月16日 (日)配信 大西裕康 (m3.com編集部)

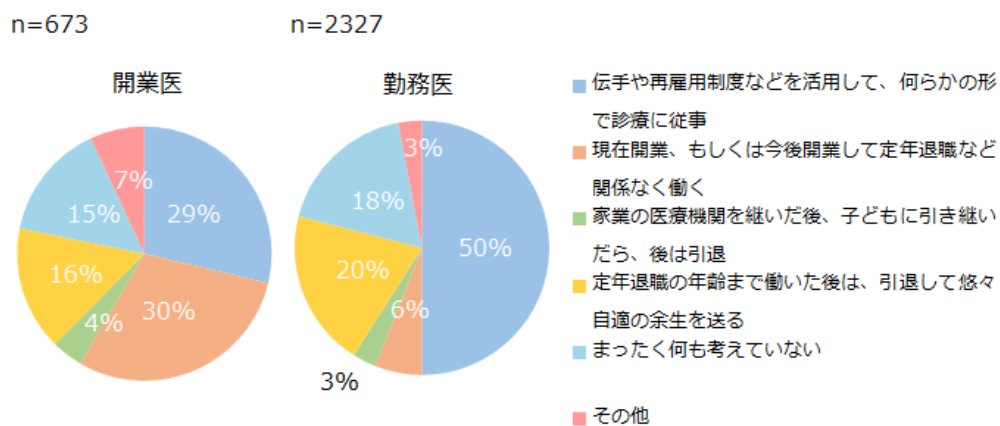
WHO西太平洋地域事務局長などを歴任し、現在は地域医療推進機構理事長を務める尾身茂氏らが代表理事のNPO法人全世代が、定年退職した医師の再就職を支援する事業の立ち上げに向けて検討を始めた（『退職医師の再就職支援事業、立ち上げを検討へ NPO法人全世代』を参照）。民間企業では定年を60歳、65歳と徐々に延長している中、医師の退職についてm3.comの医師会員に改めて聞いたところ（回答数＝勤務医2327人、開業医673人）、病院勤務医の妥当な定年については「65歳」との回答が最多（勤務医45%、開業医41%）だった。退職後に再就職する仕組みがあった場合については、4割程度の医師が「登録する」と回答。退職後に関する回答では、「全く何も考えていない」の選択肢を勤務医で18%、開業医で15%が選んでいた。

Q1.病院勤務医の定年は何歳が妥当とお考えですか。



定年については、「70歳」（勤務医25%、開業医25%）や「定年を設けず」（同14%、同18%）との回答も一定数を集めた。一方、「60歳」（同8%、同8%）と「それ（75歳）以上」（同6%、同6%）の回答は1割にとどかなかった。

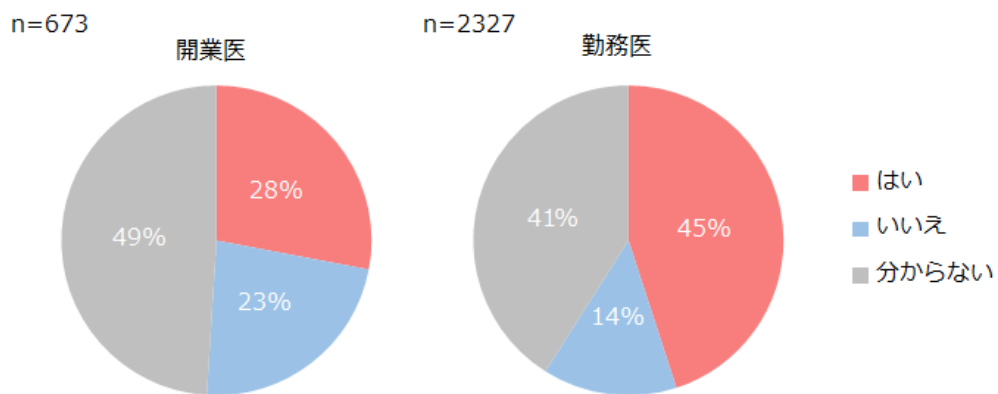
Q2.定年退職になった後のご自身について、現時点で最も近いお考えをお選びください。



勤務医では「伝手や再雇用制度などを活用して、何らかの形で診療に従事」（50%）が最も多く、次いで「定年退職の年齢まで働いた後は、引退して悠々自適の余生を送る」（20%）、「全く何も考えていない」（18%）などが続きました。

開業医では、「現在開業、もしくは今後開業して定年退職など関係なく働く」（30%）が「伝手や再雇用制度などを活用して、何らかの形で診療に従事」（29%）をわずかに上回った。次いで「定年退職の年齢まで働いた後は、引退して悠々自適の余生を送る」（16%）などが続いた。

Q3.再就職を支援するシステムとして、登録すると各地の医療機関が出している求人などが分かる場合、先生は将来的に登録しますか。



「はい」と答えたのは勤務医の45%、開業医の28%。開業医で最も多かった答えは「分からない」で41%。「いいえ」は勤務医で14%、開業医で23%。

【調査の概要】

調査期間: 2018年11月13日 (火)~11月19日 (月)

対象: m3.com医師会員

回答者数: 3000人

回答結果画面: 定年退職後どうする?

<https://www.m3.com/research/polls/result/521>